



清流

6月定例会での「一般質問」です!

- ① スポーツ振興法に基づく……「スポーツ振興審議会」……を設置し、適正なスポーツ振興と町民の健康増進を!
- ② 土曜学習教室(中学生を対象とした国語、数学、英語)について、月2回程度、公民館などで生徒の自主的学習を教師OBや教職をめざす学生などがサポートをし、開催してはどうか。
- ③ 教育委員会と町長及び町長部局並びに各学校、公民館、文化センターなどとの「意見交換会」などで意思疎通を!
- ④ 「八郷小」、「岸本小」の耐震等大規模改修の考え方について
 - 八郷小の3F建ての3F部分をカットするいわゆる“減築”は、地域などともよく話し合うべきである!
- ⑤ 島根原発30キロ圏の「2県6市2町」の「連絡会議」から、伯耆町は“カヤの外”である。
 - ……もしも、万が一、……原発問題が起これば30キロ圏のみの避難計画では、どうしようもない。
 - 「連絡会議」……の市町村ワクの拡大を県知事などに町として求めるべきである!
 (注)「2県6市2町」の「連絡会議」とは……島根県、鳥取県、松江市、安来市、出雲市、雲南市、境港市、米子市、斐川町、東出雲町の各県、市、町をいいます。

原発避難計画

風向きや地形などを考えれば、わが伯耆町は、浪江町(福島県)に位置する!

……30キロ圏などという半径で考えるEPZ(防災重点計画ゾーン)ではなく、北西の風や山なりを考えたEPZを!

……避難計画は、大風呂敷の計画を国レベルで立案を!

コトバ

1. 全国の原発に……国として、さらなる安全対策を講じるよう求めます!
2. EPZは、福島第1原発の例を見ても単に30キロ圏では収まらない。北西の風向きや山などの地形を考えた計画にすべきである!
3. 国は、災害対策基本法を改正し……国として責任をもって国民の安全避難をすべきである!
 - ① 現在は、10km圏外では、都道府県の地域防災計画に「原子力防災計画」は、作れない。(必要がない。)……原子力安全委員会の防災指針が……「EPZを原発の場合、半径約8~10kmとする。」とされているため。……(現実では、そぐわない。)
4. 伯耆町も、独自に町内で、放射線の計測をすべきである!
5. 伯耆町の防災対策も単純な地震対策だけではなく、大規模な町民避難を想定したものに練り直しを!



八郷小学校

“耐震”のために3F部分をカット?
……地域との話し合いを!



スマートインターの利用は
AM6:00~PM10:00の間です

ETC専用のスマートインター
(米子自動車道大山PA 岸本地内)

校舎の3Fをカットし、耐震補強？

- ……八郷小学校の減築改修(案)浮上！
- ・学校は地域の防災拠点
- ・学校は、耐震化だけでなく……貯水槽、備蓄倉庫、災害グッズなどの整備も(23.5.4文科省基本方針)

◆「いまの建物(3F)のまま」での耐震補強か、それとも3Fカットの「減築工法」か、については、地元のみなさんとよく話し合うことが大切である！

質問 八郷小学校の耐震補強改修については、どのようになっていますか？ (A男)

回答者 大山 太郎
 太郎 八郷小の耐震・改修費は、約2億円。そのうち・耐震補強費は、約半分の9千5百万円とされてきています。(H22.2.28「今後の教育を考える集い：鬼の館ホールでの町民への配布資料」)

A男 「減築」(3Fカット)工法とは？
太郎 この6月16日の町議会全員協議会に教委から八郷小は、「減築+改修」という(案)が飛び出しました。……地域のみなさんとよく話し合いを！

7/10から高1…… 7/20から中1～中3
 ……子宮頸がんワクチン接種開始！
 公費での全額助成となります。
 早めの接種を～！

質問 今年の子宮頸がんワクチン接種は、どのようになりますか？ (保護者：B子)
回答者 日野川 鮎子

鮎子 子宮頸がんのワクチン接種は、全額公費助成となります。

今年は、7月10日から「高1」を対象に開始。また、7月20日からは、「中1～中3」を対象に接種開始となります。

B子 去年の初年度の接種率などは？
鮎子 担当課長の説明では、
 ・ $\frac{107}{219} \approx 49\%$ となり、まず、まず～との評価でした。高1の母親からも接種要望などもあり、みなさんの反応もよかったです。……接種を！

1 被保険者の状況

(1) 第1号被保険者数 ※平成23年1月末時点

区分	65歳以上75歳未満	75歳以上	計	総人口	高齢化率
南部町	1,504人	1,960人	3,464人	11,711人	29.6%
伯耆町	1,470人	2,111人	3,581人	11,779人	30.4%
日吉津村	341人	434人	775人	3,371人	23.0%
計	3,315人	4,505人	7,820人	26,861人	29.1%

(2) 要介護(要支援)認定者数 ※平成23年1月末時点

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	認定率
南部町	55人	82人	101人	82人	66人	108人	108人	602人	17.4%
伯耆町	47人	114人	115人	170人	111人	105人	104人	766人	21.4%
日吉津村	18人	12人	20人	30人	15人	19人	18人	132人	17.0%
計	120人	208人	236人	282人	192人	232人	230人	1,500人	19.2%

県平均は25%より低い

こんにちは！

町政問答

清流



です！ 大山 太郎 日野川 鮎子

町民のみなさまのお声をお伺いし、お届けすることが原点です！

家族介護でも、介護保険を有効に利用し、家族の負担を少しでも軽く～！

太郎 介護保険制度も創設以来、早や11年目。

いまの状況は？

鮎子 制度そのものは、国民の約60%の人が「大いに評価している。」とされています。

・介護サービスを受ける人も当初の2.6倍の三百八十四万人。

・施設サービスも六、〇一五施設へとアップ……です。

住み慣れた所や、住まいで自分で介護サービスを選び自立した生活を～！

……介護の必要なときは、すぐに窓口へ

太郎 上の表を見ると「要介護の2と3」が伯耆町は多いですね。

鮎子 多分、介護が必要となったみなさんが、的確にケアマネージャーさんなどの窓口相談に行かれた結果の数字だと思うわ。

太郎 いいことですね。

鮎子 サービス自立を～！